

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 5 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	1	利用者様に対する言葉かけの研修の実施。職員の指導に重点を置き、施設をソフト面から成長を促す。	利用者様に対する尊厳ある言葉かけを、よりいっそう身につけてもらう。	個人的な話をし、全体に向けての研修に取り組む。また、外部の研修などにも、適切なものは取り入れていく。	12ヶ月
2	2	PTイレ、パット類の目に見えないところへの配慮。	PTイレ、パット類が、個人の部屋として望ましい空間になるように配置していく。	PTイレ、パット類を、適切な形で配置していく。あくまでも個人の部屋として配慮する。	6ヶ月
3	3	利用者様個人の、思いや、生い立ちなどの把握に努めていく取り組みをする。	利用者様の人生を、これまで以上に把握に努め、施設での生活に少しでも生かしていく。	レクリエーション、会話の中で、利用者様の生い立ちで気づきが見られたときや、周りの職員へ知って欲しい情報などがあったときは、それを紙に残し共通理解を図る取り組みをしていく。	6ヶ月
4	4	看取りについての研修をし、死というものに対して、怖い物ではないことを職員も理解していく。また、家族の方にも、重症化した際の対応など再度理解頂けるよう同意を計る。	職員には死について考え方を統一し、怖い物ではないことを理解させる。家族には重症化での退所、入院など理解を頂く。	職員には研修を実施、また外部の研修なども利用する。ご家族には再度、重症化した場合に家族と話し合いをし、考え方を統一する。	6ヶ月
5	5	地域密着型としてのグループホームのあり方を考え、実行していく。	今はかなり地域への貢献が出ていると思うが、よりいっそう地域におけるグループホームとしてのあり方を検討し、地域の方に愛される施設を目指したい。	地域の行事に参加し、また、公民館での飲酒、会食などを通じて、より人と人とのコミュニケーションを図り、地域に求められるグループホームを作っていく。	12ヶ月